

みずほ銀行(中国)有限公司

2022 年度グリーン預金資金運用報告

(参考訳)

みずほ銀行(中国)有限公司(以下、「みずほ銀行」「弊行」と略称)は、2023 年 3 月 31 日付の『みずほ銀行(中国)有限公司 2022 年度グリーン預金資金運用報告』(以下、「報告」と略称)を公表し、記載内容を厳格遵守することを本紙をもって保証する。

一、基本的な状況について

2022 年、弊行のグリーンファイナンス事業は健全な発展を続ける。2022 年 12 月 31 日現在まで、弊行はグリーン預金を発行するために用意するグリーン産業プロジェクトへの与信及び投資総額は 44.02 億人民元であり、56 件のグリーンローン及び 3 件のグリーンボンド投資を含める。

弊行は 2022 年 7 月からグリーン預金を発行開始。募集資金の全額をグリーンプロジェクトに充当させるために、グリーンプロジェクト投資額の 70%以下を募集上限として運営。グリーン預金の未残は 2022 年 12 月 15 日に最高額の 21.26 億人民元に達し、グリーン貸出未残に占めるグリーン預金の割合は 2022 年 9 月 7 日に年間ピークの約 60.33%を占める。2022 年 12 月 31 日時点のグリーン預金の未残は 20.36 億人民元、グリーン貸出未残に占めるグリーン預金未残の割合は約 46.24%を占めている。

二、調達資金の運用状況について

2022 年 12 月 31 日現在まで、みずほ銀行の適格グリーンプロジェクト候補には、56 件のプロジェクトが含まれており、当該適格グリーン与信には、『ガイドライン』の要求を満たす 5 つの大分類が含まれている。項目別には省エネ・環境保護産業、クリーン製造産業、クリーン・エネルギー産業、自然環境産業およびインフラのグリーン化産業。充当するグリーン与信の産業項目別分布は下記とおり：

項目別（1級分類）	項目数（個）
省エネ・環境保護産業	38
グリーン製造産業	1
グリーン・エネルギー産業	12
自然環境産業	2
インフラのグリーン化産業	3
合計	56

また、現時点、みずほ銀行の適格グリーンプロジェクト候補にはグリーンボンド3件が含まれ、対象は中央銀行、発展改革委員会、証券監督管理委員会などの機関が発行及び監督管理を行うグリーン債券であり、項目は省エネ・環境保護産業となる。

2022年12月31日まで、報告期間中のグリーン預金募集金額はグリーン与信額の募集上限を超えたことは無く、遊休資金はありません。

三、調達資金の管理状況について

みずほ銀行のグリーン預金運営方針として、グリーン事業*（環境改善/気候変動対応/省エネ対応/再生可能エネルギー事業など、環境改善に資する事業）のために資金を調達し、全額適格のグリーン与信に充当する。グリーン事業の判定基準は、グリーンボンド原則2021』（以下、「原則」と略称）、『グリーン産業指導ガイドライン2019』および『グリーンボンド適格プロジェクトガイドライン2021』（以下、「ガイドライン」と総称）の要求に準拠する。

営業部店は、適格グリーン与信の初期評価を担当し、中国業務部の要求に従ってグリーン与信の該当有無を定期的かつ合理的に確認した上で、中国業務部に申請書を提出する。中国業務部は、営業部店が選択したグリーン与信の選別を行い、営業部店が提出した申請書の内容と申請理由を分析し、グリーン与信の承認を個別に実施し、最終的に要件を満たす適格グリーン与信を承認する。

中国業務部は、グリーン預金による調達資金の管理を強化するために専用台帳を設置し、預金の存続期間中の調達資金が全て適格なグリーン与信に充当されていることを確保し、また当局によるグリーン与信関連政策を遵守することを徹底する。

四、第三者認証および情報開示

発行されたグリーン預金の存続期間中、関係資質と経験を有する独立した第三者機構に依頼し、発行後限定保証認証を取得する。2023年4月30日前に、「報告」の情報開示を実施する。

みずほ銀行(中国)有限公司

二〇二三年四月 日